

子ども一人一人を大切にする 感染症にも強い 少人数学級を求める署名

内閣総理大臣 殿

文部科学大臣 殿

署名項目

1. 安心・安全な少人数学級をすみやかに実施してください
2. 授業を詰め込みすぎず、仲間との学びと豊かな学校生活を保障してください

氏名	住所

呼びかけ人 少人数学級化を求める教育研究者有志



乾 彰夫
東京都立大学名誉教授



内田 良
名古屋大学准教授



小国 喜弘
東京大学教授



佐久間 亜紀
慶応義塾大学教授



佐藤 学
学習院大学特任教授・
東京大学名誉教授



清水 睦美
日本女子大学教授



鈴木 大裕
教育研究者・
土佐町議会議員



中嶋 哲彦
名古屋大学名誉教授



中村 雅子
桜美林大学教授



本田 由紀
東京大学教授



前川 喜平
現代教育行政研究会代表



山本 由美
和光大学教授

取り扱い団体

● 少人数学級をすすめる県民の会

山形市薬師町2-6-15新発見ビル2F 教育文化センター内
TEL 023(608)3520 FAX 023(608)3207

ネット署名も展開中！

● change.org署名も展開中です。
<http://chng.it/jvf7dQMj>



twitterで情報発信中。@kodomo_2020



呼びかけ人からのメッセージ

コロナの危険の中で学ぶ子どもたちに、 少人数学級と豊かな学校生活を保障してください。

コロナは私たちに色々なことを教えてくれた。

学校がないと、こんなにも大変だということ。

学校は勉強もだいじだけれど、友だちと遊んだり、話したり、食べたりの全部
がだいじだったこと。

先生やみんなと、ああでもないこうでもない考えるのが面白かったこと。

コロナで学校が休みだった時、子どもは一人で宿題をやるのはつまらなかった。

親は、やらせるのがつらかった。先生たちもとまどった。

久しぶりの学校はうれしかった。

分散登校でクラスの人数が半分になった時、

先生は少しゆったりして、子どもは授業がいつもよりわかる気がした。

コロナの時代に、子どもを大切にする学校を子どもたちに。

私たちは次の2つのことを求めます。

1

安心・安全な少人数学級をすみやかに 実施してください

40人学級では子どもの感染を防ぐための身体的距離もとれません。
これから必要となる子どもたちのケアや、学習の遅れへの対応も、40
人学級ではむずかしいと思います。分散登校中の少人数授業で、一人
ひとりの顔がよく見えることや、授業がよくわかることを、先生も子ども
も実感しました。全国知事会会長・全国市長会会長・全国町村会会長
も少人数学級の実施を求めています。早急に30人学級、その後すみ
やかに20人程度の学級への移行を実現してください。

2

授業を詰め込みすぎず、仲間との学びと 豊かな学校生活を保障してください

文部科学省は、授業の遅れは2～3年かけて取り戻せばいい、心
のケアを大切にするという方針を示しました。しかし、多くの学校が土
曜日も夏休みも授業をしたり、行事を削ったりしています。楽しいな行
事も大切にし、子どもたちに仲間との共同の学びと豊かな学校生活を
保障するよう、必要な措置を十分にとってください。

